



育連だより



<https://web-k.jp/ikuren/new/>

中高生リーダー研修会

日本ボーイスカウト川崎第26団 濱崎 空



令和7年11月15日 14時～16日 12時 晴れ



川崎市青少年の家 参加者 18名

団体交流会・火起こしゲーム・メスティン炊飯

火を囲んで旗立て・記念品づくり

11月15日から11月6日にかけて、川崎市青少年の家にて中高生リーダー研修会が行われました。

今回は、例年とは少し思考を変えて、ボーイスカウトのキャンプとスキルをテーマにして開催しました。ボーイスカウトのアドバイザー井上(川崎第39団)、濱崎(川崎第26団)がロープワークや火起こし、メスティンを使用した炊事のやり方を参加者にレクチャーし、1泊2日楽しくボーイスカウトのキャンプを体験することができました。



火起こし・メスティン炊飯

2日目のラストは、前の晩に各班で考えたオリジナルの班旗を、竹と学んだロープワークを駆使して作成した塔のてっぺんに掲げる「班旗立て」を実施。大変盛り上がり、今回の中高生リーダー研修会が参加者にとってとても有意義な時間であったことが示せた時間となりました。



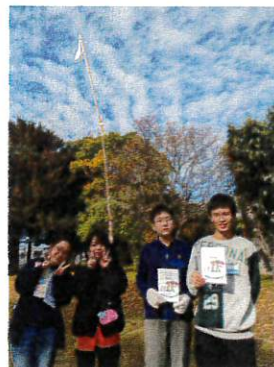
自分たちの旗をデザイン



今後、中高生リーダー研修会は、しばらく団体ごとの企画で展開することが決まっています。次回以降がどのような内容になるのか楽しみです。多くの中高生の参加を期待したいところです。



キーホルダーづくり



班旗立て完了

中原少年消防クラブ一年の活動

中原区子ども会連合会 原 恵 美

令和7年度中原区子連の少年消防クラブは、玉川地区が担当しクラブ員25名で活動を行いました。

- 6月7日(土) 結成式・第1回クラブ活動。まだ馴染みのない制服、初めて入る中原消防署に、クラブ員の子もたちは終始緊張した様子でした。車両見学と防火衣体験を行いました。
- 8月7日(火) 第2回クラブ活動。中原消防署内で放水体験と応急体験を行いました。また中原消防団玉川分団の方のご講話もありました。
- 11月8日(土) 第3回クラブ活動。横浜市民防災センターにて、防災体験と防災学習を行いました。訓練用消火器や煙体験、地震シミュレーターでは最大震度7の揺れを体験。またワークショップでは避難所で役立つ新聞紙のスリッパを作りました。中原消防署から往復大型バスでの移動は、同行する大人もワクワクする社会科見学のような様子でした。
- 12月7日(日) 第4回クラブ活動。中原区子ども会連合会少年少女の集いで活動発表。舞台での礼式発表は、消防署で習った敬礼を披露し、活動を振り返って一言発表を行いました。
- 1月10日(土) 第5回クラブ活動。中原地区消防出初式の分列行進に参加。堂々と行進を行った後には、はしご乗りや大迫力の一斉放水を見学しました。
- 2月7日(土) 修了式及びはしご車乗車体験。消防署長より一人ずつ修了証をいただきました。修了式後に小雪が舞う中でははしご車体験。はしご車のバスケットに乗り3階の高さまで上がりました。3階ベランダからは保護者が記念撮影。とても寒い中でしたが、子どもたちの嬉しそうなお表情を見ることができました。

消防クラブの活動を通して、限られた時間ではありましたが、防災意識を高める良い経験になったのではないのでしょうか。また活動をする中で、仲間同士協力し合う等、良い姿が見られ嬉しく思いました。消防署の方には、子どもたちにわかりやすく楽しくご指導いただき、お陰様で無事に活動を終えることができました。

災害の多い昨今、小学生の子どもたちにも防災意識を持ち、気づきを大切に行動できる人になってほしいです。今年度の活動を役立てていただければと思います。



設立60周年 第58回全国子ども会育成中央会議・研究大会

多摩区子ども会連合会 佐藤 光 枝

11月15日(土)～16日(日) 今大会は熊本市熊本城ホールで開催されました。川崎市からは中原区 田中れい子さん・多摩区 佐藤が表彰をいただき、大津連盟長と共に参加させていただきました。会場の受付脇には必由館高校の書道部作品が掲示され、開会式前には同校和太鼓部の一打一振、心のこもった見事な演奏が披露されました。開会式ではご来賓の方々に祝辞をいただきました。その後の熊本市長講演・田中晶子氏記念講演では多くのヒントをいただきました。

翌日の分科会は「5年先を見据えた持続可能な子ども会動をめぐって」のテーマで討議し、活発な意見交換がなされ、大変有意義な発表をもって終了しました。大会終了後に熊本城を訪れ、2016年の地震被害の大きさを目の当たりにし驚きました。修復完了までには20余年かかるそうです。

お城を背に帰途につき、川崎に無事帰着しました。



第61回 指定都市子ども会育成研究協議会 広島大会

多摩区子ども会連合会 金子定男

11月22日(土)～23日(日)、川崎から広島へ大津連盟長と表彰者4名で参加しました。

1日目のアトラクション「亀山子供神楽」では子どもとは思えない迫力ある立ち廻り・見栄を張っての台詞の言い回し。セレモニーでは、広島ジュニアマンドリンアンサンブルの打楽器による心に響く演奏…どちらにも感動し、胸が熱くなりました。地域を活性化するには色々な行事等に参加して交流を深め、輪を広げていくことを改めて考えさせられました。

記念講演「いのちを守る気象情報にするために」では、各地で起きた災害の事例を題材に語られました。ここでも地域・隣近所の繋がりが大切な事を学びました。情報交換会では初めての方と一緒にでしたが、自分が培ってきた経験などを交えて楽しく会話することができました。

2日目は原爆慰霊碑(平和記念公園)を語り部の説明を聞きながら回り、被爆した建物を見た時、改めて戦争とは残虐なものだと痛感しました。参加して得た知識を今後も育成に役立てていきたいと思ひます。



ガールスカウトの冬の活動

🍀 二十歳を祝うつどい 🍀 【48団】原島愛奈(中2) ガールスカウト川崎市連絡会

初めて「二十歳を祝うつどい」に参加してみて年齢の差が10年も無いのに、なぜかとても大人に感じました。振袖を着ている方やスーツを着ている方など他にも色々な服装をしている方がいて自分が二十歳になった時、どんな服装をしたいのかなとか、どんな髪型がいいのかなとか、色々なことを考えて楽しくなりました。



私の担当は新成人受付で来た方のQRコードの読み取り作業の内容で、その機械に触るのが夢だったので、とても嬉しかったです。

また、来た方に「おめでとうございます」と言うと「ありがとうございます」と返してくださる方もいて嬉しかったです。

今回の「二十歳を祝うつどい」を通して改めて自分がどんな二十歳になりたいか、大人になりたいか等、自分の未来について考える貴重な経験になりました。

🍀 年末たすけあい募金 🍀 【32団】植村燈(中2)

12月初旬、私は年末助け合い募金に参加しました。その日はとても良い天気多くの方が寄付をしてくださりました。

私が募金活動をする時、心がけていることがあります。まず相手の目を見て呼びかけることです。一人一人と目を合わせることで自分の想いを伝え、相手の心を動かすことができるよう意識しています。

次に寄付をしてくれた方にきちんとお礼を言うことです。なぜならわざわざ貴重な時間を割き足を止めて寄付をしてくださったことへの感謝の気持ちを伝えたいからです。

募金活動ではスカウトみんなの力を合わせることでより多くの方に協力して頂けると感じます。みんなで活動することを大切に地道に継続していきたいです。



🍀 初詣 🍀 【32団】小野間晴桜(高2)

私は2026年1月18日に、32団のみんなで府中の大國魂神社へ初詣に行きました。当日は天気がとても良く、青空の下でお参りができて気持ちがよかったです。

特に心に残ったのは、人型流しです。紙の人形に名前や年齢を書き、自分の体をなでてから川に流すことで、心や体のけがれが清められると知り、とても神聖な気持ちになりました。新しい一年をすっきりした気持ちで始められたと思います。

今年は感謝の気持ちを大切にしながら、毎日を前向きに過ごしていきたいです。



富士章取得報告

日本ボーイスカウト川崎第54団 井田 翔 仁

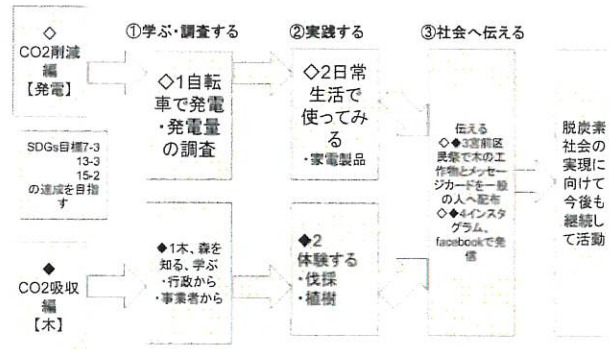
私はこれまでの活動で自転車を多く活用してきたことから、ベンチャープロジェクトの最後に自転車を活かした取り組みを行いたいと考えた。学校の授業でSDGSの目標15「陸の豊かさを守ろう」について学んだ際、森林の再生が脱炭素社会の実現や地球温暖化防止にもつながると知り、CO2の削減と吸収の両面から貢献するプロジェクトを立ち上げた。

プロジェクトでは、日常生活での自転車の活用や発電を通じたエネルギー自給、森林保全活動へ参加した。植樹イベントに参加し、森林の現状やその保全の大変さを実感した。また、間伐材で作ったコースターとメッセージカードを地域イベントで配布し、情報発信も行った。活動をInstagramで広め、一定の反響を得ることができた。

反省点としては、準備不足やスケジュール管理の甘さから、自転車での発電の検証が不十分だったこと。また、文書作成や表現が苦手な自分にとって、書類作成に時間がかかってしまったことも課題だった。

今後は、自分の苦手と向き合い、改善を目指したいと感じている。また、地球環境に貢献するために、今後も自転車移動やアプリを活用した寄付活動を継続していきたい。

富士章取得にあたって今回の活動では、計画書や報告書の作成、自ら活動を企画・実行することが特に大変だった。思うように進まないことも多く、何度も見直しや修正を重ねた。その中で、自分の先延ばし癖に気づき、改善しようと意識するようになった。困難を通して、責任感や主体性の大切さを学ぶことができた。



2025年 ISCA 年次総会東京開催

川崎海洋少年団 福田 武雄

2025年10月28日から31日にかけて、国際海洋少年団協会（International Sea cadet Association、以下：ISCA）の年次総会が、14年振り3回目の議長国として東京・ホテルマリナーズコート東京にて開催されました。

ISCAは海洋少年団員の国際交流推進、相互支援及び交流ガイドライン策定等を行うことを目的とし、1994年に設立され日本連盟は結成以来の創設メンバーとして活動しております。

今回は対面とオンラインのハイブリット形式で開催され、対面で7か国、オンラインで6か国の計13か国の幹部が参加し、4日間に亘り討論や交流が行われ、規約の大幅改定、交流ガイドラインの見直し、ケイマン諸島海洋少年団の正会員への昇格が採択され、4日間の日程を無事に終了致しました。

総会後のフェアウェルパーティーには、日本連盟名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を賜り、10月に日本と同じ海に囲まれた島国であるアイスランドで開催された第12回北極サークル総会に御臨席を踏まえ、氷解する北極海問題を取り上げ、地球温暖化や海洋汚染問題を意識しつつ、海を舞台に活躍する世界の海洋少年団が、環境への関心を高く持ち、友好と親善を深めて欲しいとのお言葉を賜りました。

発行 川崎市青少年育成連盟 <https://web-k.jp/ikuren/new/>
 事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
 生活文化会館（てくのかわさき）3階
 TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126



青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社